

## TT（赤外線サーモグラフィ試験）実技試験における 赤外線サーモグラフィ装置について (本書記載の内容は、「受験申請補足資料-B」より抜粋)

### 受験申請補足資料-B

#### 2. 赤外線サーモグラフィ試験 (TT)

赤外線サーモグラフィ試験 (TT) の実技試験では、2024 年秋期新規試験及び 2025 年春期再認証試験より「赤外線サーモグラフィ装置の持込み受験」を認めています。「JSNDI が準備する赤外線サーモグラフィ装置による受験」又は「持込み受験」のいずれかを選択して受験できます。

- ・「JSNDI が準備する赤外線サーモグラフィ装置による受験」では、2 機種 (NEC/Avio 製 H2630、FLIR 製 SC620) から 1 つを選択します。
- ・「持込み受験」では、「JSNDI が公表した赤外線サーモグラフィ装置」を持ち込んで受験します。
- ・受験を希望する方は下記を参考に希望の受験方法を選択し、受験申請書の実技選択欄に記入してください。
- ・**実技選択欄が空欄の場合は、こちらで「JSNDI が準備する赤外線サーモグラフィ装置による受験」とし、「4 (NEC/Avio 製)」又は「5 (FLIR 製)」を JSNDI が指定します。**

#### ＜赤外線サーモグラフィ試験 (TT) を受験する場合の「実技選択」記入方法＞

下記を参考に、使用を希望する赤外線サーモグラフィ装置に対応する数字 (「4」又は「5」、「6」) を受験申請書の実技選択欄に記入してください。

※各タイプ専用の画像処理ソフト及びパソコンは準備いたしますので、パソコンの持込み出来ません。

**4 : NEC/Avio 製 H2630 受験\***

**5 : FLIR 製 SC620 受験\***

**6 : 持込み受験\***

\*3 : 各タイプ及び使用ソフトの説明及び持込み機種の詳細については、当協会ホームページ (<https://www.jsndi.jp/qualification/index1n-01.html>) の (EA10)「TT 実技試験について」を参照してください。

#### ＜TT1 及び TT2 受験申請の方の「実技選択」＞

受験申請書の「実技選択」欄に「4」、「5」、「6」以外の数字が記入されていたり、空欄の場合は、JSNDI が「4 (NEC/Avio 製)」又は「5 (FLIR 製)」を指定させていただきます。

#### ＜実技選択の変更について＞

- ・受験票及び通知書に記載された「実技選択」の変更を希望される方は、一般社団法人 日本非破壊検査協会 認証事業本部にご連絡ください。
- ・「実技選択」の変更期限は、一次試験実施日 (初日) の 5 営業日前までとなっており、期限後の変更は一切できませんのでご注意ください。

**JIS Z 2305 非破壊試験技術者資格試験  
レベル1、レベル2用 新規受験申請書**

①JSNDI 提出用 (原本)    ②JSNDI 提出用 ☺ コピー    ③申請者控用 ☺ コピー

正
副
控

私は、資格試験実施案内<新規・再試>に記載された内容に同意し受験申請を行います。

申請書提出日 (西暦)      年    月    日      押印

**受験申請者  
署名欄**

太線内へボールペンにて楷書で自筆署名してください。

<写真貼付>  
縦 30mm×横 24mm  
6か月以内に撮影  
写真裏面に次を記載  
・生年月日  
・氏名

顔写真  
全て同  
いだけ  
予め回  
して  
①受験  
②受験  
③調査

試験種別	レベル	NDT方法	一次	二次	実技選択		
					UT	TT	検査する器具を丸で囲む
1	0				1 (持込み)    2 (Gタイプ)    3 (Bタイプ)		
					4 (NEC/Avio)    5 (FLIR)    6 (持込み)		

訓練開始 (西暦年月日)      訓練終了 (西暦年月日)      全試験科目

一般社団法人  
日本非破壊検査協会  
認証事業本部

実技選択【TT】欄に希望する装置に対応する数字を丸で囲んでください。  
実技選択欄へ「4」又は「5」、「6」を選択し記入すること。

**JIS Z 2305 非破壊試験技術者資格試験**  
**TT 実技試験におけるカメラの持込み受験について【受付開始】**

非破壊試験技術者資格試験 TT1、TT2 の実技試験において、赤外線サーモグラフィカメラの持込み受験ができるようになりました。持込み受験の条件等は次の通りです。持込み受験希望者は以下に記載されていることを考慮して準備してください。

1. 持込み受験の開始時期

1.1 新規試験・再試験対象者

2024 年秋期二次試験（2024 年 11～12 月実施）より、持込み受験を受け付けます。持込み受験を希望する場合は、受験申請受付期間中に受験申請書の実技選択欄に記入のうえ提出してください。

1.2 再認証試験対象者

2025 年春期再認証試験（2025 年 2～3 月実施）より、持込み受験を受け付けます。持込み受験を希望する場合は、受験申請受付期間中に受験申請書の実技選択欄に記入のうえ提出してください。

2. 持込み受験ができるカメラ

現行の試験では、NEC/Avio 製 H2630 及び FLIR 製 SC620 のいずれかを受験申請時に選択し、当協会が準備したカメラで実施しております。持込み可能なカメラについては以下の通りです。

持込み受験ができるカメラの機種（2024 年 7 月 3 日現在）

メーカー名	機種
フリーシステムズジャパン株式会社	E52、E54、E76、E86、E96、 T530、T540、T560、T840、T860、T865
日本アビオニクス株式会社	R550 シリーズ：R550Pro、R550、R550S、 R450 シリーズ：R450Pro、R450、R450S

※レンズは標準（24°）のみ試験で使用可能です。

3. 持込み受験実施の要点

- ① 受験申請時に「カメラ持込み受験希望」を明示すること。詳細は、受験申請時期の日程表及び受験申請書を参照のこと。
- ② 事前に連絡された実技試験の集合時間・場所に持込み受験で使用するカメラを持参すること。（事前に試験会場に送付することはできない）
- ③ 持込み受験では、試験開始前及び終了後に、条件・データ等のメモリを全て消去する。
  - 1) 重要な条件・データは実技試験会場にカメラを持参する前にバックアップを取っておくこと。
  - 2) 初期化状態（工場出荷状態）からカメラの操作が出来るよう取扱い方法に十分習熟しておくこと。（取扱説明書の持込みはできない）
  - 3) カメラに装着されている外部記憶メモリ（SD カード、コンパクトフラッシュ等）は実技試験開始前にカメラ本体から外すこと。
- ④ 持込みカメラの操作方法に関する質問は一切受け付けない。実技試験中に持参したカメラ及び関連器に不具合が発生した場合には、全て受験者自身で対応すること。

以上